

2007年総会報告

佐藤容齋+三浦千波による書と絵画の2人展
鏡開き (紫波の名酒、堀の井)
母校今昔写真によるスライドショー etc

若い世代の参加拡充

5月13日(日)

東京グリーンパレスに250名超が集う



書と絵画の2人展 (佐藤容齋+三浦千波)

第39回在京白聖会(注…1面最下段「お断り」参照)は、2007(平成19)年5月13日(日)、麹町の東京グリーンパレスにて開催されました。爽やかな五月晴れ、13時から16時という昼間開催、出欠葉書のカラー



出席者のみなさん

化などが奏効してか、250名を超える出席をいただき、盛会となりました。出席いただいた皆さま、写真提供などご協力いただいた皆さまに感謝いたします。50年卒幹事団が掲げた総会に向けてのコンセプトは「若い世代の参加拡充」、「幹事年次の負荷軽減」、「会場・イベントの固定化解消」の3点。懇親会を「ご歓談のひと時」として楽しんでいただくために、「鏡開き(紫波の名酒、堀の井)」、「佐藤容齋+三浦千波による書と絵画の2人展」、「母校今昔写真によるスライドショー(BGMは合唱部の混声合唱による校歌)」、「出席者全員の集合写真」、「母

幹事の皆様
ご苦労様でした紫波の名酒「堀の井」
で鏡開き

校応援団の手ぬぐい販売」などを企画しました。幹事年次の負荷軽減を掲げながらも、一部メンバーにはかなりの負荷であったかもしれませんが、昨年6月12日の幹事引き継ぎ会を経て、都合11回の打合せを重ねての大成功。心配だった、やや小振りな会場も、一体感の演出に一役買ったようにも思えます。校歌蜜唱では手違いにより4番まで完唱。応援団が倒れるかとヒヤヒヤしましたが、ことのほか好評だったとか。幹事一同、責務を全うした充実感に浸りつつ、若い世代との合同打ち上げへとなだれ込んだのであります。51年卒の皆さん、来年はよろしく。

第3回

「在京白聖レディス会」

6月23日(土)・「大森東急イン」

第3回「在京白聖レディス会」が6月23日(土)大森東急インで開催されました。出席者は34名、幹事は当年70歳になる30年卒の面々でした。

最初に、この会を立ち上げ今回会長を退任された土橋とも子さん(S28年卒)から、会の設立経緯と趣旨について「女性同士が卒業年次を超えて情報交換などができる場が欲しいという気持ちで立ち上げたのであまり規則などは作らずに來ました。末永く続けばいいと思っています」というお話があり、引き続き新会長の戸来ソウ子さん(S40年卒、在京白聖会女子副会長)から御挨拶をいただいたあと講演会に入りました。

香村央子さん(S30年卒)の講演
「スパイスよもやま話」も大好評



講演者はS30年卒の香村央子さん、お話は「スパイスよもやま話」ということで、スパイスの歴史や使い方をたくさん例を引きながらお話し下さり、大変興味深いものでした。そのあとは懇談をしながらのお食事、アツと言う間に時間が過ぎてしまつて来年の再会を約して散会となりました。



在京白聖会文化活動として、「中世城郭探訪の集い」は今年に引続き、次の要領で実施します。奮って御参加下さい。

○期日…11月17日(土) (雨天中止…参加者には個別に連絡します)

○見学先…石垣山城跡(小田原市)

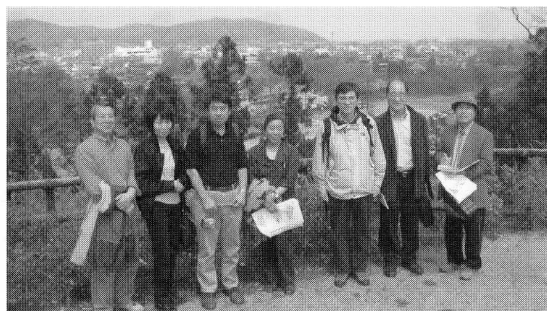
○集合場所…JR東京駅東海道線ホーム(地下中央通路から上がった付近)

○集合時刻…午前7時半

○行動…07:40東京駅発→09:09早川駅着→石垣山城→箱根登山鉄道→入生田駅→箱根湯本駅→

「石垣山城跡見学」実施要領

平成19年11月17日(土)
(中世城郭探訪の集い)



今年4月7日に行われ楽しかった「鉢形城址見学会」。(写真上)城址から寄居町を望む。(写真下)秩父寄居の宮沢賢治歌碑の前で記念撮影(歌碑の宮沢賢治の歌は「毛虫焼くまひるの火立つこれやこの秩父寄居のましろきそらに」「つくづくと「粋なもやうの博多帯」荒川ぎしの片岩のいろ」の2首)

早雲寺(北条氏縁の寺)→日帰り温泉にて入浴→懇親会(有志)→箱根湯本駅→小田原駅→東京駅

○経費…交通費、昼食代及び入湯料は自弁

○服装…ハイキングができる服装(険しい所はありませんが、標高262mの山頂に上ります)

○解説…石垣山城は、秀吉が

北条氏を屈服させるために、小田原城を見下ろす山頂に、わずか80日間で築かせた、関東初の総石垣造りの城です。山頂からの眺望は絶景で、遥かに太平洋を見通すことができます。

○申込…在京白聖会事務局に、11月15日(木)までにお申込み下さい。電話、ファクス、メール等、なんでも結構です。

阿部正樹・立花一男の36年卒演劇部コンビによる俳優座公演 「江戸の極楽とんぼ」 顛末記

7月16日、俳優座(六本木)の舞台に灯がともり、満席の観客の前で「江戸の極楽とんぼ」が始まった。脚本・演出は36年卒の演劇部コンビの上田次郎(本名阿部正樹)・立花一男。在京白聖会が贈ったスタンド花の歓

迎を受けて中に入った観客は舞台の右手奥に「白鳥乱子一座様へ」「盛岡一高三十六会より」というケバケバシイ花環を見て一瞬ここが本当に六本木かと思っただ人もいた。江戸末期の浄瑠璃語りの旅芸人が盛岡で繰り広げ



写真左から間瀬隆男氏、阿部正樹氏、立花一男氏の36年卒トリオ。バックのロビーにも白聖会の花輪

る芝居であったが、4人の役者さんが合計13人役を演じる芝居に腹を抱えて笑いながら知らないうちにひきずりこまれていった。阿部君は盛岡・八幡町を舞台にした織田久さんの労作「江戸の…」を脚本にし、それに立花君が厳しくコメントを加え、無事 俳優座の審査に合格し、年間5回しかない本公演に選ばれた。



なんと!舞台上に堂々と「盛岡一高三十六会」の花輪が!



観劇のあとは作者や演出家、出演した俳優を囲んだ二次会。出演者などと懇談を楽しめるのも、白聖芸術鑑賞クラブの大きな魅力となっている

最後に、両君にはさらにこれからも良い作品を作り文武両道の白聖健児の意気を世間に知らしめて欲しいものである。

間瀬 隆男(S36卒)

初日は景気付けに在京36会、7月20日には在京白聖会のメンバー、その翌日は三喜会の有志、その他大勢の方々に見ていただいた。芝居の後、役者さん方と親しく話ができた運のよいグループもあった。振り返ると、日程の詳細が決まったのが2月。早速、在京白聖会のHPに、また3月の会報に掲載していただき、かつ、白聖会の芸術鑑賞のクラブ活動に準じた観劇会として取り上げていただいた。

お蔭様で、満席の日が続く、ここに改めて、皆様に御礼を申し上げる次第である。尚、当公演は10月に盛岡をはじめ岩手県の内陸及び沿岸の都市でも開催され、大盛況であった。

在京白聖会ゴルフクラブ

第5回在京白聖会ゴルフ大会

11月22日(木)開催 参加者募集

第4回目を迎えた在京白聖会ゴルフ大会。回を重ねるごとに盛会になっています。個人参加、年次でのチーム参戦いずれも大歓迎です。東京駅から送迎バスも出ます。

開催要領

●期日 平成19年11月22日(木)

●会場 ザゴルフクラブ竜ヶ崎

茨城県竜ヶ崎市泉町原口

1592-77 TEL.0297-64-0110

●スタート OUT・IN共

9・15から各6組

●集合時間 8・30(厳守)

●募集定員 48名

●会費 5千円

(パーティー費、賞品代ほか)



●開催要領

●プレー費 プレー費(概算4,000円)＋昼食代等は各自で精算下さい。

●送迎バス 東京駅一会場間の往復送迎バスを用意してあります。

●申し込み 東京駅7・00発(有料2千円)但し、卒業年次単位1チーム4名の一括申込みを歓迎。

●申込方法 ①氏名 ②連絡先住所 ③電話番号 ④卒業年次 ⑤チームの場合は代表者名 ⑥送迎バスの利用有無を明記し(書式自由)事務局宛申し込む。

●申込締切 平成19年11月5日(月) ※但し、先着順。定員に達し次第締め切ります。

●プレー 18ホールズストロークプレー。ハンディはダブルペリア方式で算出。同ネットは卒業年次上位。

●対抗戦 卒業年次別対抗戦を行います。

1チーム4名の上位3名の合計スコアで順位決定。

●表彰 年次対抗戦団体優勝、個人戦優勝ほか賞品多数。

●実施要領 参加者には後日詳細な実施要領を送付します。

●申込先 在京白聖会事務局 105-0003 東京都港区西新橋 1-17-11、玉澤健児税理士事務所内、TEL/FAX03-3501-1391(直通)

母校生徒が全国大会で大活躍

●盛岡市で8月に開催された第2回短歌甲子園で、盛岡一高の戸館大朗君(2年)が個人戦最優秀賞に輝きました。最優秀賞歌は喉元で母の涙の味がする姉が発つ日のきんぴらごぼう

●第31回全国高校総合文化祭鳥根大会、放送部門/アナウンス部門で盛岡一高の藤原悠紀君(3年)が最高賞にあたる優秀賞。ビデオメッセージ部門は川井村のタイムグラを題材にした作品で特別賞を受賞しました。

白聖五行歌会参加者随時募集中

白聖五行歌会は、毎月第1金曜日午後6時間30分から秋葉原和泉橋区民集会所で歌会を行っています。参加希望の方は03-3269-3420(42年卒・白聖五行歌会代表)までお気軽にご連絡を。メールは sakuraco@leaf.ocn.ne.jp

夏祭りの人気者
和太鼓が
心と体に響き
天を駆け
故郷の音になる
伊奈 裕 (38年卒)

踏まれても、蹴られても
健気に咲き続ける
道端の花
その花びらに宿る露は
君の涙か
星 邦彦 (36年卒)

雨に煙る
山々から
何かが見えて来る
私が探し求めている
しあわせなのか?
光 平 (31年卒)

秋の雨
降ったり
止んだり
山田武秋 (42年卒)

※07年4月～10月までの作品から抜粋。作者名はペンネームもあります。

白聖五行歌会2周年記念講演
小川達雄氏(S22年卒)「宮沢賢治の五行の歌」
08年2月9日(土) 於…自由学園明日館(池袋)



「白聖五行歌会」2周年記念講演会場の自由学園明日館(JR池袋または目白から徒歩15分)。白聖五行歌会は、今年5月26日(土)に目白庭園及び自由学園を散策しながら吟行歌会を行った

白聖五行歌会は、発会2周年を記念し、S22年卒で「盛岡中學生宮沢賢治」(河出書房新社)などの著書もある作家の小川達雄氏を講師に迎え、講演会を行います。会場は、帝国ホテルを設計したライト氏の設計で、重

要文化財に指定されている自由学園・明日館です。散策を兼ねて、ぜひ、ご参加下さい。

●開催要領

●日時 平成20年2月9日(土) 13・30・16・30

●会場 自由学園明日館大教室 タリアセン TEL03-3971-7535

※敷地内及び近隣地区は全面禁煙となっておりますので、ご注意ください。

●参加費 1,000円

●申込方法 TEL03-3269-3420 FAX03-3269-8480 桜出版内 白聖五行歌会事務局まで。

メール sakuraco@leaf.ocn.ne.jp

●募集定員 35名(収容人数に限りがありますので、お早めにお申し込み下さい。)

●申込締切 平成20年1月末日 ※但し、先着順。

編集後記

在京白聖会のクラブ活動が活発に行われるようになり、話題もその報告などで埋まるようになりました。白聖人の幅広い人材や活動を紹介するために、今後は増ページの検討が必要かもしれません。会員同士の交流が活発になり、白聖魂はますます意気軒高に盛り上がっています。